

秋田県高体連中央支部総合体育大会バスケットボール競技 申し合わせ事項及び感染症防止対策に関するガイドライン

秋田県高等学校体育連盟中央支部バスケットボール専門部

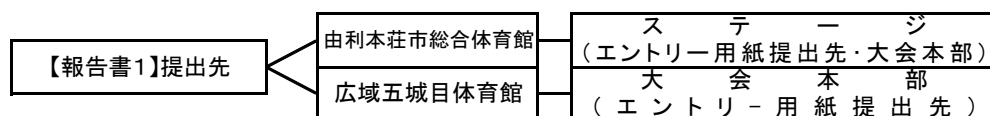
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、開催期日の延期・変更もしくは中止となる場合もあることを御理解ください。
開催や中止(全体・一部)の判断は、関係者と協議し県教育委員会の指示を仰いで県高体連が決定します。
- 本大会は無観客試合とし、会場に入場できるのはチームスタッフ(映像撮影者含む)及び選手、大会運営役員、その他専門部に特別に許可された者のみとなります。
- 各自でこまめな手洗い、アルコール消毒による手指消毒を徹底するよう呼び掛けてください。
- マスクの着用を常時お願いします。プレイしている選手、審判以外はすべての方がマスクをしていることになります。
- 感染が確認された場合、感染確認前の2週間の行動歴調査を依頼することがあります。

会場への入場

※ 入場できるのは、チームスタッフ及び選手、大会役員のみです。

※ 他の人の持ち物には触れないこと。共用した場合はその都度消毒すること。

- 大会前1週間及び大会期間中において、37.5℃以上の発熱、味覚・嗅覚異常、強い倦怠感等の症状がないこと。
毎日、会場へ到着次第【報告書1】を各会場のエントリー用紙提出先(大会本部)に提出してください。
あわせて、エントリー変更・確認用紙は、変更の有無に関わらず全てのチームが提出してください。



- 入場者は毎朝体温を測定するなど、健康観察を行うこと。(少なくとも大会前1週間から)
- チームの会場入りについて、会場内外での密を避けるために以下のとおりをお願いします。

選手・スタッフ：試合開始1時間30分前(第1試合は1時間前)

【報告書1】には入場するエントリー外の部員名も記載し、そのみなさんは各チームの待機場所で観戦するようにしてください。

- 会場入りについて、会場内外での密を避けるために各チームとも試合開始1時間30分前(第1試合は8:00から)より早く入場することはできません。

報道関係、視察者(大学関係者など)の会場への入退場

- 報道関係、視察者(大学関係者など)への対応
入館時に受付にて【報告書4】(入場者確認票)を作成し、会場内では常に携帯していただきます。
退館時には退館時間を記入してから、本部に提出してください。
事前にチームへ入場依頼があった場合には、その旨を伝え、確実に入場記録が残るよう協力を求めてください。
報道関係者には加えて、報道受付への記入とピブス(腕章)の着用をお願いします。
- 各体育館の駐車場の利用について
・施設付帯駐車場以外への駐車をしなしてください。

感染防止に関すること

- こまめな手洗い、アルコール消毒による手指消毒を徹底してください。
- 会場内はマスク着用を徹底する。(競技中やウォーミングアップ時を除く)
- 自チームの試合後は密を避けるため、速やかに会場から退館してください。
- 各チームでも消毒スプレーなどの持参をし、試合終了後のベンチエリア、退場される際の待機所の消毒にご協力をお願いします。
- 会場等で発熱等の風邪症状が出た場合は、**顧問(当該校職員)が保護者及び学校管理職に連絡し帰宅させること。**

その場合、他の生徒等への健康観察を徹底させること。

また、競技責任者は、健康報告内容(報告書3)に該当する場合には直ちに高体連事務局に連絡する。

- 更衣室や待機所の混雑を緩和するよう、ゆとりあるスペースを確保する等の措置を各チームで講じてください。
更衣室での着替えについては、各チーム15分を目処とし、速やかな入れ替えを心がけてください。
- **屋食など飲食中はソーシャルディスタンスを確保し、会話を避ける。**
- 会場内のゴミ箱の使用を禁止し、各チーム、ゴミの持ち帰りを徹底すること。
併せて、会場内でボールや用具等を預かることは一切行いませんので、必ず持ち帰るようにお願いいたします。
- 大会前、直近2週間において、県外チームと試合をしたチームについては、感染対策責任者(専門委員長)宛メールにて報告をお願いします。(中央支部専門部事務局:akita_koukou_basket_c@yahoo.co.jp)

競技、試合前後に関すること

- 通常次の試合のチームがコートで行うハーフタイムのウォーミングアップは行わない。
- 怪我防止のため、サブアリーナ等でのウォーミングアップを認める。但し、行う際は可能な限りの感染防止対策を行い、特に発声などは厳禁とする。
- 試合球については、モルテン8面体JB5000を使用します。(事務局で準備)
- ベンチメンバーはマスク着用を原則とする。(交代後は呼吸が整ったら着用のこと。)
- こまめに会場の換気を実施すること。(各ゲームのハーフタイム及び試合間のインターバル時)
- 大きな声での会話や応援は自粛する。(顧問が指導)
- ハイタッチや握手などの身体接触を控えさせること。
ミーティング等も短時間とし、密にならない措置を講じる。
- 試合終了後の相手チームや審判などへの挨拶は**主将のみ**で行う。その際も、ソーシャルディスタンスを保つこと。
- 試合後、使用したチームベンチの消毒作業に協力する。(消毒用具はTO席に置く。主将以外の選手で速やかに行う。)
- 敗退したチームや競技の終了したチームは、TOなどの役割がない場合には速やかに退館(帰宅)すること。
- TO並びにフロアキーパーはマスク着用を遵守する。
- スカウティングをする場合
感染対策の観点から、**チーム分の【報告書1】に記載されているスタッフもしくは選手限定とし、最大2名まで**とする。希望するチームは、新たに担当者分の【報告書1】を作成し、本部に提出すること。また、添付のファイルに必要事項を入力し、印刷してIDとして持参してください。会場では見えるようにホルダーに入れるなどして、チームで対応をお願いします。

不測の事態への対応について

- 体調不良者が原因で人員不足などにより、出場不可となった場合は「棄権」となる。また、参加校の校長が出場を見合わせることを判断した場合も「棄権」となる。
- 休校となっている学校のチームは参加できない。学級閉鎖や学年閉鎖の場合は、そこに在籍する生徒は出場できない。
- 大会期間中に参加者に新型コロナウイルス感染者が出た場合は、速やかに専門委員長に連絡し、高体連本部の続行もしくは中止等の判断を仰ぐ。